

つよくしなやかに

2学期終業式(12月26日)校長講話

おはようございます。
暑かった夏から雪が降る冬まで、長かった85日間の2学期も今日で終わりになります。みなさんはこの2学期はいかがでしたか？みなさん一人ひとりが、85日間、自分で決めた2学期の目標に向かって、見通しをもって精一杯チャレンジしてきて実り多い収穫の秋から冬になっていると思います。

目標に向かって
見通しをもって
精一杯チャレンジして



実り多い2学期になりましたね！

この2学期を振り返ると、皆さんは様々な新しく習うことや初めてやることなどにどんどんチャレンジしてきましたね。さらに、いろいろなことに勇気を持って、自分なりにがんばってチャレンジするたびに、たくさんの事ができるようになったことと思います。この2学期にどんなことをがんばってやってきたか、そしてどんなことができるようになったかよく振り返ってみてください。そして、自分ができるようになったことが増えてきたことに自信をもって、お正月明けの3学期に、また勇気を持って向かっていきましょう。

明日から冬休みに入りますね。今年令和7年も今日を入れて残すところあと6日となりました。今年最後の日、12月31日のことをなんていうか知っていますか？そう、「おおみそか」といいます。大晦日の31日は、皆さんの家ではどんなふうに過ごす予定ですか？秋田県では子供のいる家に鬼のような仮面をつけた「なまはげ」が来て「悪い子はいねがー！」と子供たちに叫びながらやってきてこれから病気や困ったことがないように、そしてお米など農作物ががたくさん収穫できるようにお祈りしてくれる行事があるそうです。松本にはなまはげは来ないかもしれませんが、きっとお家の人とお寺や神社に行ってお参りなどして楽しく過ごすことと思います。そして、31日が終わると、いよいよ新しい年、令和8年の1月1日、元日になります。そして元日の朝のことを「がんたん」といいます。ぜひ、この元日の元旦には、新しい年にどんなことを頑張っていきたいか考えて、日記などに書いておいてほしいと思います。

竹はとても強い！



さて、今日は竹のおはなしをしたいと思います。竹は皆さん見たり触ったりしたことはありますか？これからお正月にかけて、このような門松を置くおうちもあると思いますが、この門松にも竹が使われています。この竹は、とても大きくなるスピードが速くて、1日に1mを越える速さで大きくなることもあり、

1年で5mも伸びることもあるようです。「竹」はこのように成長が早くまっすぐ育つので、生命力・生きる力や長寿・長生きすることや繁栄を表すといわれています。なので門松には竹が使われているんですね。背が高く、幹が細いわりに、重い雪を葉にいっぱい乗せても、しなるだけでびくともしません。強い風に吹かれても折れることはありません。

こんなに竹が強いのは、中はスカスカの空洞でも、たくさんのしっかりとした節があり、幹をささえているからです。この年末年始にこれまでの自分を振り返って、新年の決意を考えることは、竹のような節目を大切にすることになり、じぶんにとっての丈夫な竹を支える節と同じ働きをします。

竹のように強く、しなやかな自分にできるように、新しい年を迎える節目の時を大切にしてください。

それでは、新年1月7日の朝には、全員元気にまた学校で会いましょう！みなさん、病気やケガにはくれぐれも気を付けて、みんな元気によいお年をお迎えください。以上で終わります。

令和8年 1月1日 元日



節目（ふしめ）を大切にする

今年は〇〇ができるようにがんばるぞー！



良いお年をお迎え下さい、



3学期始業式は 新年1月7日（水）です！

